

3Dプリンタ用セラミック材の試験販売を開始

～ 3DSYSTEMS 社製「ProJet CJP x60 シリーズ」で実証 ～

武藤工業株式会社

MUTOHホールディングス傘下で、3Dプリンタ・大判インクジェットプリンタの製造・販売を手掛ける武藤工業株式会社（本社：世田谷区、社長：早川信正、以下：武藤工業）は、3Dプリンタ用セラミック材料の試験販売を開始いたします。

この3Dプリンタ用セラミック材料は株式会社リタケカンパニーリミテド製で、通常石膏を材料としてフルカラーの着色ができる3DSYSTEMS社の「ProJet CJP x60シリーズ」で試用を進めており、造形時に必要となるバインダ（接着剤）は、石膏にも用いる接着剤をそのまま使用できます。プリンタで造形後、焼成をすることによりアルミナを主成分とする、白く多孔質なセラミック造形物が得られます。

独自デザインの、また、3Dプリンタでの設計によるオリジナル作品の造形も可能となるなど、美術工芸分野のみならず、設計モデルの作製・医療、電子機器部品などへの応用も期待されます。

※プリント後に燃焼炉で焼き固めた状態の試作品画像



今後、「ProJet CJP x60シリーズ」と組み合わせた販売を目指し、3DSYSTEMS米国本社の協力のもとで機器の品質検証を進めていく予定です。

6月21日から東京ビックサイトで開催されます「第28回 設計・製造ソリューション展（DMS）」の武藤工業ブース（小間番号：41-44）にて、出力サンプルを参考出品し、試験販売を開始させていただきます。

【報道機関からのお問い合わせは】

武藤工業株式会社 3D プリント事業部

3D プリント営業部

担当：竹内

TEL 03-6758-7024 / FAX 03-6758-7013

E-mail : toshikazu_takeuchi@mutoh.co.jp